

第 61 回 日本病院・地域精神医学会総会

2018/11/9^金・10^土

福島県郡山市

『ビッグパレットふくしま』開催



第 61 回の総会を 30 年ぶりに福島県で開催する事となりました。

今回は、大きく 2 つのテーマを掲げたいと思います。それは、東日本大震災被災後の福島と、地域包括ケアシステムです。

2011 年の東日本大震災から来春で 7 年になります。会場となるビッグパレットふくしまは当時 2,500 人の避難所になった場所で、周辺には沢山の仮設住宅が建っていました。原発事故という、日本でこれ迄に経験の無い被災後の福島県で、地域や文化、そして人々に何が起こり、どう変化してきたのかについて、皆様にも肌で感じて頂ければと思います。同時に、昨年の中東地震をはじめ、国内でも自然災害が後を絶ちませんが、多大なストレスが人や地域、医療、福祉に何をもたらすのか、そして、それをどう乗り越えることができるのか、改めて考える機会になればと思います。

また、2025 年問題に向けて地域包括ケアシステムが叫ばれ、精神障害を含めた包括ケアという構想が厚生労働省から提示されています。元来、精神科医療においては、医療や福祉が生活の場である地域に根ざし、病状の回復や社会参加、或は就労等の目的に向かって支援するという意味で、地域包括という視点は極めて重要です。しかし、地域包括ケアを考える上で、子ども、働く世代、高齢者、障害を持つ方々全てにおいて、今の日本が向き合わなければいけない多くの課題が見えてきます。めまぐるしく社会、疾病概念、医療、そして福祉が変化する中で、私達がこれからの精神科医療福祉の未来をどう考えるか、活発な議論を頂きたいと思います。

福島は豊かな自然と美味しい食べ物、そして温かい心を感じて頂ける所です。是非多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第 61 回 日本病院・地域精神医学会
福島大会 大会長
社会医療法人あさかホスピタル
理事長・院長 佐久間 啓